

当初予算

平成29年度当初予算が3月定例会で可決されました。予算額は、一般会計が前年度当初比8・0%減の137億4500万円、国民健康保険など特別会計が、3・4%減の117億2278万円、水道事業の企業会計が9・8%減の9億7568万円となっています。予算総額では6・1%減の264億4347万円を計上しています。

歳入は、市税が前年度当初比1・5%増の34億5477万円、地方交付税が前年度当初比6・3%減の48億6300万円、市債が32・2%減の11億5940万円などです。

岡本庁財政課 ☎4419004

教育費

◆学力向上No.1プロジェクト事業 【1,824万円】

小中学校児童・生徒の学力向上を目指し、学力向上支援員および放課後学習支援員の配置といった学習サポートや電子黒板の設置などを行います。

◆中央公民館耐震改修事業 【2億6,175万円】

耐震診断に基づいて中央公民館の耐震改修を行います。

〔主な内容〕

公民館整備工事費



◆岡山天文博物館リニューアル記念事業 【85万円】

「天文のまちあさくち」を広く周知するため、博物館の改修後の開所にあわせ、記念式典を実施します。

国民健康保険特別会計

◆人間ドック補助金 【103万円】

40～74歳の国民健康保険被保険者の人間ドック受診料のうち、特定健康診査部分の費用に対し補助金を交付します。

工業団地開発事業特別会計

◆浅口工業団地開発事業 【818万円】

若者の雇用の確保、安定的な税収確保のため整備を進めている浅口工業団地A地区の関連工事を行います。

〔主な内容〕

工事請負費、水文調査委託料

総務費

◆市営バス運行事業【1,772万円】

市民の移動利便性を確保するため、幼児からお年寄りまでどなたでも無料で利用できる市営バス「浅口ふれあい号」を市内6路線で運行します。

〔主な内容〕

市営バス運行委託料



◆定住促進事業【78万円】

市の情報発信を充実させ、定住人口の拡大を図るために、都市圏での移住相談会や住宅展示場への出展の他、結婚推進事業である「縁結びサポーター事業」を実施します。

◆ふるさと納税事業【6,512万円】

市の更なる発展のために、寄附を広く募集し、歳入確保および地域特産品のPRにつなげます。

〔主な内容〕

特産品送付、ふるさと納税業務委託料

〔ふるさと寄附金歳入見込額〕 1億円

◆地域おこし協力隊事業【1,627万円】

人口減少や高齢化等の進行により、活力が衰退している地域力の維持強化を図るため、都市部から人材を誘致し、コミュニティ活動の支援や地域資源の発掘・情報発信などを行います。

民生費

◆あさくち就職フェア2017【28万円】

市内企業の雇用確保と移住・定住促進を図るため、就職面接・説明会を実施します。

◆発達障害者支援施設整備事業【700万円】

発達障害者やその家族の居場所作りのため、寄島老人福祉センターの改修および備品を購入します。

衛生費

◆子ども医療給付事業【1億3,763万円】

中学校卒業までの子供の医療費の自己負担分の助成を引き続き行います。



農林水産業費

◆農業用施設改良事業【4,150万円】

耕地の保全と農業生産力の向上を図るため、農道・ため池・水路などの農業用施設の改良を行います。

商工費

◆観光施設整備事業【372万円】

観光客の利便性を高め、周遊性を図るため、岡山天文博物館などにWi-Fi環境を整備します。

土木費

◆道路新設改良事業【3億6,396万円】

市民生活を支える道路の整備を図ります。

◆空家等対策計画策定事業【716万円】

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、空家等対策計画を策定します。

◆金光駅周辺整備事業【3億1,619万円】

金光駅南口広場などの整備を行います。

〔主な内容〕

駅周辺整備工事委託料、駅周辺整備工事費、用地購入費

消防費

◆自主防災組織活動補助金【200万円】

自主防災組織が防災活動を行う上で必要な防災資機材の整備に要する経費に対して補助金を交付します。

※全額は1万円未満切り捨てのため、次の合計額と総額は一致しません

4500万円 (前年度比 8.0%減)

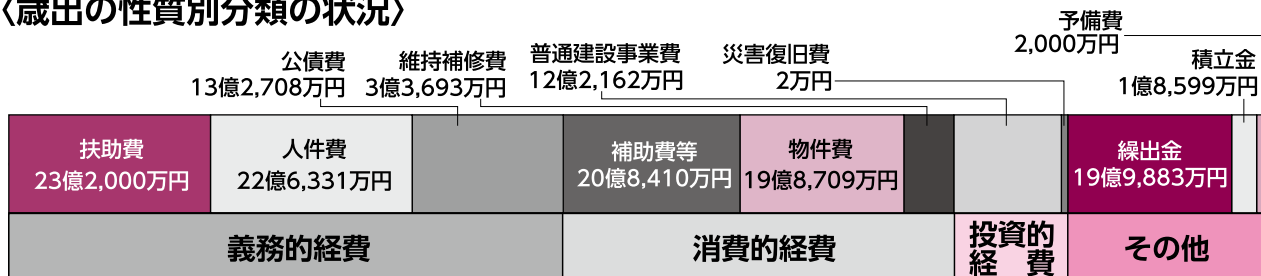
歳出

教育や福祉、医療のほか、道路整備、消防活動など皆さんの暮らしのために使われます。

〈歳出の目的別分類の状況〉



〈歳出の性質別分類の状況〉



用語解説

性質別分類 ▶扶助費／生活困窮者・児童・高齢者・障害者などへの支援に▶人件費／特別職の報酬、職員の給料や手当などに▶公債費／借入金（元金・利子）の返済に▶補助費等／各種団体への助成金や一部事務組合への負担金などに▶物件費／消耗品や賃金、委託料、備品購入費などに▶維持補修費／公共施設（道路・河川・学校など）の補修に▶普通建設事業費／公共施設（道路・河川・学校など）の建設事業に▶災害復旧費／災害により被害を受けた施設などの復旧に▶繰出金／一般会計から特別会計へ出される費用▶積立金／基金（市の貯金）に積み立てられる費用



商工費
1,973円



土木費
66,955円



消防費
18,937円



教育費
42,474円



公債費
37,831円



その他
5,873円

平成29年度の当初予算を会計別にご紹介します。

平成29年度当初予算

一般会計

137億

歳入

市の歳入には、市税や地方交付税、国や県からの支出金などがあります。

自主財源

依存財源

市税

34億5,477万円 市民税・固定資産税・軽自動車税など市の税金

繰入金 5億1,988万円 基金（市の貯金）を取り崩したお金など

諸収入 2億3,124万円 他の歳入に含まれないお金

繰越金 2億953万円 前年度から繰り越されたお金

分担金及び負担金 1億1,645万円 市が行う特定の事業により利益を受ける人から、その受益を限度として払っていただくお金

使用料及び手数料 9,563万円 公共施設の利用料金などや証明書発行といった特定のサービスに対していただくお金

寄附金など 1億2,880万円 市以外から譲渡される金銭など

地方交付税

48億6,300万円 各市町村が一定の水準の行政サービスを維持できるよう国から交付されるお金

国庫支出金

13億3,937万円 特定の事務事業実施のため国から交付されるお金

市債

11億5,940万円 特定の事務事業実施のためなどに市が借りのお金

県支出金

8億6,209万円 特定の事務事業実施のため県から交付されるお金

地方消費税交付金

5億4,600万円 地方消費税のうち市町村分で、人口などをもとに県から交付されるお金

地方譲与税など

2億1,880万円 国税として徴収された税で、一定の基準で国から譲与されるお金など

※（ ）は前年度比

特別会計

特別会計予算総額 ▶ 117億2,278万円 (3.4%減) ※金額は1万円未満切り捨てのため、次の合計額と総額は一致しません

| 会計名 | 予算額 | 会計名 | 予算額 |
|-------------|--------------------|------------|---------------------|
| 国民健康保険 | 51億1,819万円 (△4.1%) | 公共下水道事業 | 21億1,754万円 (△ 1.3%) |
| 後期高齢者医療 | 5億4,930万円 (△1.5%) | 畑地かんがい給水事業 | 1,034万円 (13.8%) |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 261万円 (△8.9%) | 益坂財産区 | 706万円 (3.0%) |
| 介護保険 | 38億6,455万円 (7.0%) | 工業団地開発事業 | 5,317万円 (△88.6%) |

※（ ）は前年度比

企業会計

企業会計（水道事業）予算総額 ▶ 9億7,568万円 (9.8%減)

〈一般会計〉
市民一人あたりの
年間経費総額

391,819円

※各費目の予算額（千円単位）に対し、人口35,080人（平成29年1月31日時点）として算出



議会費
5,482円



総務費
39,038円



民生費
129,407円



衛生費
32,929円



農林水産業費
10,920円